



# また赤ちゃんが生まれた！

最近村から来た報告や写真を見ると、わたしたち現地訪問団  
が帰ったあと、母子保健センターで四人か五人の赤ちゃんが  
生まれたそうです。乳幼児検診身体検査も、「バンガラチー」  
スがちゃんと受けついで続けています。

教育の方も中学校の運営委員会、シヨングラニ・シヨングラ村  
の委員会に世代交替が少しずつあつて、教育の質を高める

ことを真剣に話し合っています。母子保健センターでは医療  
機番（日本国内善意の志所）の管理、ノルジャマン医師とバンガラ

ナースたちの給料など

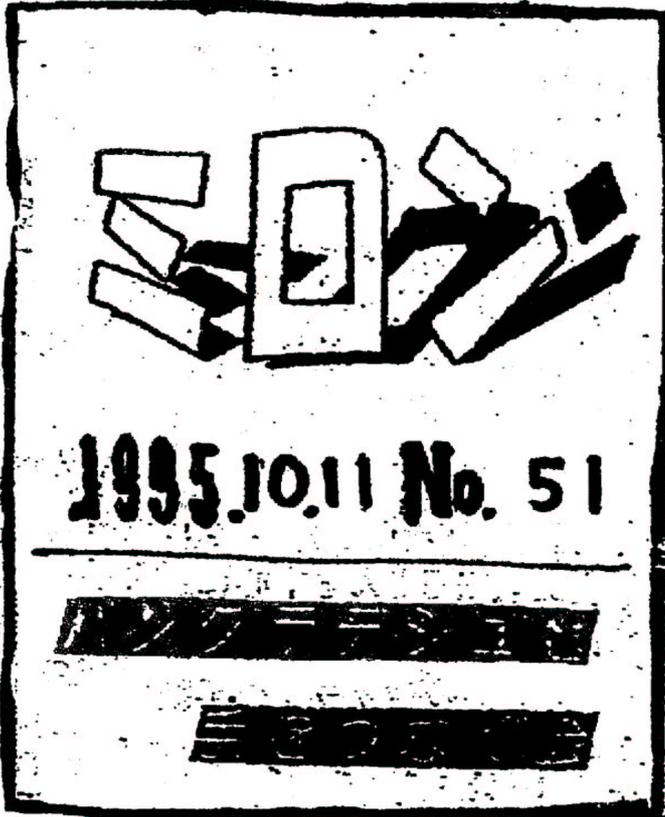
経済的にたいへん

です。

## 募金を

## よろしく！

（大木）



## 95 現地訪問これからの課題

= 教育部門

### ○ 教育の質の向上

夏の訪問で「教育班」のみんながびっくりしたのは授業時間の短いことでした。小学校1、2年生が1日2時間、3～5年生が3時間45分……この問題はその後1時間ずつ増やすことになりました。でも問題は「教育の質」です。授業の内容、教え方……まだまだこれからという感じです。手紙のやりとりをひんばんにして、一緒に考え、助言して行きたいと思います。

### ○ 子どもたちの国際交流

夏の訪問には中学生2人が参加し、村の子どもたちと、いい交流ができました。村の子どもたちの絵と手紙をたくさんの日本の子どもたちに持って帰ることができました。受験をめざす管理教育

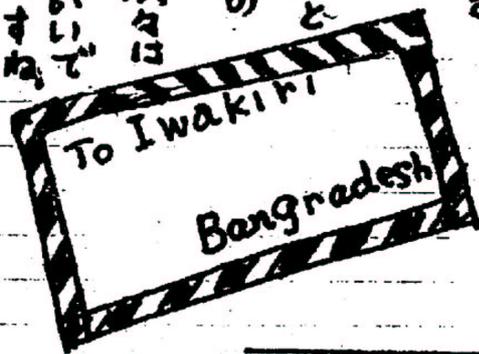


になりがちな日本だから、あの「かがやくひとみ」の村の子どもたちと友だちになる「国際交流」をずっと広げて行きたいと思います。  
(大木松子)

# 村の中学生から返事が来た!

ことしの現地訪問に参加した  
岩切大樹くん(西南中)は  
帰国してから村で仲よくなっ  
た中学生に手紙を出しまし  
た。その返事が村から届い  
たのです。お母さんの驚きま  
せ村出身の大学生たちとこんだん会  
おしたとき文通の約束ができた青年か  
らの手紙が届き  
ました。

こうして日本と  
バングラデシュの  
ペンフレンドが次々は  
広がって行くといひで  
すね。



## ガールスカウトから 第3小学校に

### プレゼント

ガールスカウ  
ト福岡では  
アルミ缶を集め  
て売ったお金で  
貧しい国のために役立つものを送る  
奉仕を続けています。  
ことしの現地訪問のときは小学校  
中学校の少女たちがかわいい絵をたく  
さん村の子どもたちのために書いて下  
さいました。

どもたちに何とあげようと相談しました。第3小学  
校は村の人たちの手でつくったもの。近いうちにプレゼント  
を決めておくことになりました。



(3)

(大木)

## 1995現地訪問報告会が開かれました

10月8日(日)、早良市民センター視聴覚室にて行われました。

まず最初にスライドを使った報告が行われました。

医療班の報告では、患者のうちわけ、MCHの開所、医療機器の到着、MCHでの2例の出産、バングラDr. Nsも診療に加わった事等が報告されました。又、今回は乳幼児検診ができ、今後の活動に生かせるデータが取れたことも報告されました。殆どの子供が日本の子供の平均を下回っていて、厳しい生活状況がうかがえました。教育班の報告では、中学生2人が活動に加わりサッカーやゲーム等を通して交流が図れたこと、絵や歌の授業を通して多くの子供達と接することができたことが報告されました。しかし、意欲に燃えながらも、家庭の事情で夢を諦めたり、中途退学をしなければならない現状がある事を聞き悲しくなりましたが、夜間学級が増えた事、中途退学者の為の授業がボランティアで行われていることを知り少しほっとしました。

次にビデオが上映されました。『かがやく瞳いつまでも』と題されていて、RKBアナウンサー山下奈緒美さんの美しい声と共に活動の様子が写し込まれました。(約16分)

最後に休憩をはさみ質疑応答が行われました。約1時間の間に、沢山の質問が出されました。「自分にも何かできますか」という質問に、「バングラデシュのことを知ろうとして下さい。愛してください」と言われたラフマンさんのことばが心に残りました。今後行われる報告会で、沢山の人がバングラデシュを知り、てをつなぐきっかけになってくれればと思いました。

なごやかでたくさんの人が発言して、いい会でした。

質問にこたえての丸木陽子さんのお話 岩切くん

と守藤くんのはにかみながらのひと言、日本に



来て2ヶ月の留学生2人の「ニホンゴハムズ

カシイデス」の感想、ラフマン夫人のシ

ヒダさんはかわいいシャルナちゃんと前に出

て恥ずかしそうでした

(大木)

福岡シティ銀行姪の浜支店で9.14~10.4まで

## バングラデシュ現地訪問の報告写真展

が行われました。姪の浜支店では、7月にもチャリティバザーを開催し、全行員あげて協力して下さっています。また、支店を訪れたお客さんたちにも、バングラデシュの生活や会の活動の様子を具体的に知っていただけたことでしょう。地域に密着した、地道な広報活動は今後も大切にしていきたいと考えています。

姪の浜支店では、今後もチャリティバザーなどを開いて、協力を続けていただけるとのことです。

## 9月24日(日)には東京調布教会で報告会

大木さんの上京に合わせて、東京でも現地訪問の報告会が開かれました。でき上がったばかりのビデオ『かがやく瞳 いつまでも』と、スライド、それに大木さんのお話しも、たいへん好評だったようです。

## 11月5日(日)福間公民館で報告会の予定です。

福間公民館の英会話教室の主催で、今年も現地訪問の報告会を開きます。ここはラフマンさんを講師として英会話を学んでいるグループで、毎年現地訪問のあとに、報告会を開いています。お近くの方はぜひご参加ください。時間は、午後2時から5時までです。

## **報告会の出前をいたします。**

現地訪問報告会を、各地域や、職場で小規模で行うことが、会の活動を広めたり、村の様子を知っていただくために大切なことだと考えています。訪問団のメンバーが都合をつけて参加いたします。あなたの職場、学校、地域などで報告会を開いてみませんか？

ビデオ『かがやく瞳 いつまでも』や、写真集、スライド、それに報告書も用意しています。どうぞご利用下さい。

# Bangladesh と手をつなぐ チャリティコンサート'95は

11月25日(土) 午後2:30~5:00

会場は末永文化センターです。

福岡市城南区七隈1-11-50

TEL 092-821-3338

入場料 一般 2000円 高校生以下 1000円

出演 池田 千鶴子さん (ハーブ演奏)

現地からの報告 ノルジャマン医師

(Bangladesh・カラムディ村母子保健センター医師)

主催 Bangladesh と手をつなぐ会

共催 NGO福岡ネットワーク/九州ライフネットワーク (QLNET)

後援 福岡市・福岡市教育委員会 NHK九州メディス 朝日新聞社  
毎日新聞社 読売新聞社 西日本新聞社



## 国際ソロプチミスト福岡-東 チャリティコンサート

『森山京子 メゾ・ソプラノ リサイタル』

☆メゾ・ソプラノの名曲を求めて☆

カラムディ村の母子保健センターの建設にもご協力いただいた、「国際ソロプチミスト福岡-東」のチャリティコンサートが今年も開催されます。このコンサートの収益は、国連難民高等弁務官事務所ならびにBangladesh と手をつなぐ会へ寄付される予定です。

日時 10月19日(木)

開場 17時30分 開演 18時30分

会場 福岡銀行大ホール

入場料 3000円

(6)

# NGO福岡ネットワーク9月定例会

ネットワーク定例会は、9月30日(土)アクロス福岡のこくさいひろば交流室Bで行われました。主な内容は、

「南北問題と開発教育」を基にした、福岡でのアクションプランについてのアイデアを出しあったあと、11月APEC(アジア太平洋閣僚会議)に合わせたNGO会議に、高柳・宮石参加、10月29日(日)九州DEVANDA生命のまつり参加、NPO(非営利団体)法案についての対応、などを話し合いました。(詳しくは、NGO福岡ネットワーク事務局報をごらんください。)

## 次回のお知らせ

次回のNGO福岡ネットワーク定例会は  
諸般の事情で、12月にずれ込みます。

日時 12月2日(土)午後2時~5時

会場は アクロス福岡3F こくさいひろば 交流室Bです。

10月29日(日)午後1時から、春日市春日公園で

## 九州DEVANDA生命のまつりが開かれます。

「NGO福岡ネットワーク」で1ブースを借り、バングラデシュと手をつなぐ会も、明日のカンボジアを考える会、JVC九州ネットワーク、福岡自由学校とともに出展することにしました。

お近くの方は、どうぞお立ち寄りください。また、準備や当日のお手伝いができる方は、ぜひお願いします。

## バングラデシュスタディツアー参加者募集中!

バングラデシュと手をつなぐ会では初めての試みとして、「バングラデシュ・カラムダイ村スタディツアー」を行います。あこがれのカラムダイ村を一度見てみたい、村人とふれあいたい方、どうぞご参加ください。

12月22日~29日

費用は、約17~18万円の予定

お問い合わせは、ラフマン(092-632-3382)

または二ノ坂(092-861-2780)まで。

航空機の予約の関係で10月15日までにお申し込みください。

1995年

カラムディ村現地訪問報告書

「かがやく瞳 いつまでも」

が完成しました。

現地の人々の生活や、訪問団の活動を  
ぜひご覧ください。

1部500円

1996年カレンダーは

10月末完成予定

1部 1000円です。

カラムディ村の自然と人々が  
12枚の写真で語りかけます。

ベンガル語講座を再開します。

10月9日(月)より。

講師はラフマンさん

会場は大木さん宅

毎週月曜日午後7時からです。

現地訪問の旅費カンパ  
ありがとうございました。

最終的に、  
97件、852,800円でした。

運営委員会

10月14日(土) 2:00~

11月19日(日) 1:30~

作業日

11月8・9日

9日午後6時~8時に  
勉強会を行います。

どなたでもお気軽にご参加下さい。

チャリティコンサート(11月25日)、スタディツアー(12月  
22日から)もどうぞよろしくお願いたします。



Bangladesh と手をつなく会

〒814

福岡市早良区西新5-5-13

TEL&FAX 092(822)5795

代表 大木 松子

送金先 郵便為替

01720-2-10442

加入者名 Bangladesh と手をつなく会